冠婚葬祭総合情報誌
全日本ニュース
発行／株式会社フォトサービス
TEL. 03-5980-0290

※本誌に掲載している情報は、一部インターネットなどに掲載されている文献をもとに編集しておりますので、地域・風習等により異なる場合がございます。

外人墓地から函館湾を望む

学生による引揚者援護活動（道新旧蔵写真）函館市史より

夜の函館港から函館山を望む

あなたのふるさと紹介
北海道函館市

現在は札幌市にお住まいの星野様から、終戦直後お住まいになっていた函館市の思い出を綴られたお便りを頂きました。

私の第二のふるさとは新幹線開通で脚光を浴びた北海道の入口に続く港町函館です。

百歳まであと約十年という、今更のようにびっくりたまげた年齢まで生きた自分の人生が、花火が上がったように、目の前に華々しく浮かんできます。もう何十年も訪れることがなかったふるさとはずーっと遠くにありましたのに……

昭和十九年、あと二年で卒業という時、同じく北海道の小樽で生まれ育った私が、父の仕事の都合で、函館の女学校に転校しました。

函館の西部には当時巨大なドックがあり、終戦後樺太からの引き揚げ船が入港する拠点となっておりました。

引揚援護局のお手伝いをする人は腕章をつけた若い大学生の男女が多く、一生懸命お手伝いする姿を見るたびに胸を打たれたものでした。

船が入るたび「おかえりなさい、ご苦労さん」という唄が拡声器から流れ、大きな荷物を身体が見えなくなるくらい背負い、子供さんの手を引いた人が、ほっとした顔で続々と降りてくるのでした。毎日繰り返される涙の再会、無事を喜びあう人々で溢れた港は今思い出しても胸が熱くなります。

函館は坂が多いことでも有名です。港へ向かって数多くの坂があり、その今ではそのすべては思い出すことができません。

西部の船見坂、ときわ坂、二十間坂等ありますが、一番はずれの船見町あたりの坂をずーっと登り詰めたところにあった外人墓地も忘れられません。

その頃の私には珍しい十字架がたくさん立っていて、生まれた国から遠く離れた、この異国の地に眠っている人々の、様々な人生や歴史の物語がただよっているように感じる場所でした。

そして、高い丘の上から眺める港には人々の生活を支えるいか釣り船、はるかかなたには青森の小さな影…。

本州とのつながりさえ感じさせる雄大な景色が、今も目の前に広がり、若かった頃のいろんな思い出がいっぱいつまった、忘れられない日々がよみがえってくるような気がします。

星野様、お手紙ありがとうございます。七十年以上も前のご記憶ながらも、多感な少女時代の思い出の瑞々しさが、いきいきと伝わる文面に感動いたしました。その頃の写真が残っていないかと函館市中央図書館の方のお力を借り、引揚援護局の手伝いをしている学生の写真を見つけました。また拡声器から流れていたという歌についても調べてみましたが、こちらははっきりこれだというものを見つけることはできませんでした。ただ昭和二十二年には、引揚者の心情を歌った「かえり船」という田端義夫の歌が累計百八十万枚となるヒットとなっています。他にも引揚者の方々の気持ちをいたわるような歌があったんだろうなと思います。

そして、函館市に行って参りました。日本三大夜景にあげられるだけあって、夜の街の美しさも格別。港と金森赤レンガ倉庫を夜撮影してみました。外人墓地、路面電車、いくつもの坂に導かれ、あちこちと歩き回ってしまう街…函館の魅力はつきません。

そして忘れてならないのは新鮮ないかそうめんのおいしさです！

◆　◆

今回のふるさとも大変素晴らしいところでした。皆様のふるさと自慢をお聞かせください。お便りをお待ちち申し上げております。

懐かしいデザインの路面電車

新鮮さが売りのいかそうめん

ハリストス正教会

入船港に停泊中のいか釣り船

金森赤レンガ倉庫

八幡坂

あなたのふるさとを皆様に紹介してみませんか？

皆様の故郷や第二の故郷の、おいしい食べ物・素敵な場所・歴史などをお聞かせください。ちょっとした些細な事でもあなたの思い出深い事なら大歓迎です。ぜひこの機会に多くの人に知ってもらい、あなたの素敵を皆様に分けていただけませんか?採用させていただいた方には謝礼として15,000円をお送りさせていただきます。次号の作成都合上、11月30日までにご応募の方から選考させていただきます。
右記の住所に1200文字くらいを目安に文章にしていただき、お名前・ご住所・電話番号を記載の上郵便などでお送り下さいませ。次号（全国版）第一面に掲載させていただきます。なお著作権を侵害するような物は使用できませんので、あらかじめご理解の上ご応募下さい。

応募先
〒170-0004東京都豊島区北大塚2-3-16 2F
株式会社フォトサービス　全日本ニュース係宛

温泉雑学　砂風呂特集

300年もの昔から湯治に訪れる人々に愛されてきた「砂風呂」。その効能は最近になって医学的な説明がなされるようになってきました。今回はそんな、じんわり熱い「砂風呂」の特集です。

指宿市役所観光課提供

指宿（いぶすき）温泉「砂むし会館 砂楽～さらく～」
（鹿児島県指宿市）

最初にご紹介するのは、砂むしといえばやはり指宿、その中でも最大の温泉立ち寄り施設の「砂むし会館　砂楽～さらく～」です。世界的にも珍しい天然砂むし温泉は、海岸に自然湧出する豊富な温泉を利用しています。大潮の干潮時には波打ち際で、満潮時や天候の悪い日は屋根付の砂むし場で砂浴が可能。 砂の温かさに加え波の音が、心も体も和ませてくれます。砂むし湯治は古くから行われており、天保14年に編纂された「三国名勝図会」にも高い効能が記されていますが、鹿児島大学医学部の調査によると、砂むしに入ると心拍出量が増え、体の深い所の体温が上がるなどの効果があることが判りました。血液循環を進めることによって老廃物の排出や炎症性・発痛性物質を洗い出し、十分な酸素栄養を供給することによって人の体をリフレッシュさせます。その効果は普通の温泉のなんと3～4倍とのこと。

伊豆熱川温泉「玉翠館」
静岡県賀茂郡

次は「伊豆唯一の砂風呂」といわれる伊豆熱川温泉の「玉翠館」です。檜作りの部屋に砂が敷き詰められ、部屋の下を流れている天然温泉によって温められているというスタイル。熟練の湯守の方によっていねいに温度管理されています。身体の芯から温まり、肌もつるつるになるという評判です。粒の大きい川の砂を使用しているため、マッサージ効果も期待できて、終わった後の砂落としもとても楽。また、湯守りの方のトークが、おもしろいと、大人気のようです。

昼神温泉「清風苑」
長野県下伊那郡

最後にご紹介するのは、長野県の昼神温泉「清風苑」。広い室内に敷き詰められたのは、西オーストラリア・バース産の砂とメキシコ産の原塩をブレンドし、抗菌・脱臭作用を施した特製「砂塩」。床下から温泉と電気を使って、適温に保っています。遠赤外線の働きで体の芯から温め、砂塩から発生するマイナスイオンでリラックス効果・免疫力アップも図れます。肩こりや腰痛、冷え性・ダイエット・婦人病・アトピーなどにも効果が期待できるとのこと。また、砂塩に含まれる原塩、ミネラルにより肌がすべすべになり、髪のトリートメント効果まであるといわれています。

砂風呂は汗をかき、デトックス効果がある反面、のぼせや脱水症状の心配も否めません。当日の身体のコンディションをよく見極め、水分を充分とるなど、予防措置もした上で楽しむのが大人の楽しみ方。さて、どの砂風呂をお試しになりたいですか?

こだぬきポンポコの これなんだポコ？「魔法のつえがすごいポコ!!」の巻

作／つきのしずく
絵／恋林あやこ

オヒシバのとんとんずもう

材料
◆オヒシバ2本
◆紙箱（A4サイズくらいのもの）
◆マジックペン
◆はさみ

①紙箱の中央に土俵となる丸を大きくペンで描きます
②オヒシバの穂の付け根を切り、穂先は土俵に立つように切りそろえます。
③土俵の上に、穂先が下になるようオヒシバカ土をのせたら、はっけよい、のこった！

メヒシバのかんざし（魔法のつえ？）

材料◆メヒシバ1本

①メヒシバから穂を1本抜き取ります。
②残りの穂を下方向に丸く曲げて茎のところでひとまとめにして①の穂で結ぶとできあがり！